

北信越地区

柳 晴彦

平成25年北信越柔道選手権大会は、北信越5県を持ち回りで開催している。本年は、3月3日(日)新潟県新潟市、「鳥屋野総合体育館武道場」にて開催された。

大会は、3ブロックによる予選リーグの後、各組一位3名による決勝リーグ戦によって北信越地区代表選手2名を決定する。

予選リーグの組み合わせと各県出場者は次のとおりである。

Aリーグ

藤田 武志	四段	石川県警察
松田 壮市	四段	福井県警察
石黒 康孝	五段	富山県警察
猪又 秀和	五段	東京学館新潟高校教員
堀川 政之	三段	長野県警察

Bリーグ

井口 大輔	三段	金沢学院東高校教員
西村 久毅	四段	敦賀高校教員
井上 統道	三段	長野県警察
桶谷 知生	四段	朝日町柔道協会
小林 大輔	五段	新潟県警察

Cリーグ

今井 敏博	四段	新潟総合警備保障
軒沢 優太	五段	富山県警察
横山 裕司	五段	松商学園高等学校教諭
齊藤 修也	五段	福井県警察
松山 御勇大	三段	金沢学院大学

出場する選手を見ると、職業(所属)別にみると警察官が8名と最も多く、教員4名、会社員2名、学生1名となっている。



予選Aリーグでは、猪又選手の安定した試合運びが印象的であった。一本勝ち2試合を含む4戦全勝で昨年同様決勝リーグ進出を決めた。

Bリーグでは、井口、西村、桶谷の3選手が3勝1敗の混戦となった。3勝すべて一本勝ちの桶谷選手が初めて決勝リーグ進出を決めた。

Cリーグは、今井選手の豪快な技が繰り出すなど、終始今井選手が圧倒した試合内容。今井選手が4戦全勝で決勝リーグに進出した。

昨年一位の猪又選手、富山県予選二位で今大会に臨んだ桶谷選手、新潟県予選で猪又選手に惜敗し二位で今大会に参加した今井選手の3名は決勝リーグ戦で北信越地区代表の座をかけて争うこととなった。

第1試合は、桶谷選手と今井選手の対戦。試合は、今井選手の圧に桶谷選手は苦戦を強いられる。3つの指導を受けた後も消極的な

姿勢ということで反則負け。今井選手は反則勝ちを収める。

第2試合は、今井選手と猪又選手の対戦。今井選手と猪又選手は全日本選手権新潟県予選決勝で対戦。この時は今井選手が勝利を収めていた。試合開始から猪又選手の積極的な攻撃が優勢の試合展開。猪又選手が有効のポイントを取り優勢勝ちで猪又選手が勝利を収める。

第3試合は、桶谷選手と猪又選手の対戦。試合は終始猪又選手の攻勢。試合中盤、桶谷選手の内股で猪又選手は宙に浮く。劣勢に立っていた桶谷選手の豪快な技で一本勝ち。

この結果、1勝1敗と勝敗で3者とも勝利数は五分であった。試合内容から、今井選手、桶谷選手が全日本柔道選手権大会への出場を決めた。また、今井選手は、通算二度目、桶谷選手は初出場となった。

北信越地区代表となった2名の選手には4月29日、日本武道館の晴れの舞台において北信越地区代表として大いなる健闘を祈念する。

(北信越柔道連盟事務局長)



表彰式の模様